

—栗山の未来を語る—  
まちづくり懇談会



町民の声を広く行政に反映させることを目的とした「まちづくり懇談会」が7月10日～19日まで、町内4会場で行われました。前半は佐々木学町長が「令和5年度の推進事業」についてスライドで説明。

後半は説明内容の質問・意見への回答、自由懇談を通し「栗山新時代」に向けて語り合いました。

 **町営バスについて**

**問** 杵臼と大井分を経由する継立・日出線の売上が月30000円ほどしかない。町民に町営バスの現状を伝える機会を設けてはどうか。

**答** バスの経営形態や収入の状況などは年に1回、広報などで皆さんにお知らせしていきます。また、町営バスは皆さんが生活する上で必要な路線ですので、デマンド交通の利用や大型バスを小型バスへ変更するなど、創意工夫を行いながら

維持経費を抑えていく努力をしていきます。

 **すこやか運動教室について**

**問** 4月～6月に、継立ですこやか運動教室が行われていた。去年より参加者が増えていて、健康づくりに効果がある教室だと思っている。今後は、3カ月限定ではなく、通年に近い形で実施していただきたい。

**答** 継立での通年開催については、事業の委託先との関係もありますので、現段階では回答できませんが、前向きに検討させていただきます。

 **FM放送について**

**問** 胆振東部地震の時に電気や水道が止まる可能性があるとのこと、町の広報車が町内を回ってくれていが聴きづらく情報が入って来なかった。今後の災害

の備えとして、来年開局のFM放送を継立・日出地区でも聴ける環境を整えていただきたい。

 **国道234号線の拡幅について**

**答** 継立・日出地区に中継所を設けますので電波が届き、FM放送が聴けるようになります。今後、1世帯に1台配布するFMラジオは、災害があつた時に自動で緊急放送に切り替わるシステムになっています。

**問** 国道234号線の拡幅の関係で、数年前に話がありました。現在の状況を教えてください。

**答** 国道234号線の拡幅については、以前から交通安全対策も含めて国に要請をしています。国でも交通量の多い所から重点的に道路の整備が進められており、すぐに234号線の拡幅は難しい状況です。そのため、渋滞や事故が起きや

すい9つの交差点を1ヶ所ずつ拡幅・改良していく、最終的にそれらを繋げて4車線化にもっていく方向で打ち合わせを進めています。

 **マイナンバー保険証について**

**問** マイナンバーカードと保険証を紐づけたマイナンバーのトラブルがテレビなどで報道されている。今後町は、どのような対応を考えているか教えていただきたい。

**答** マイナンバーカードの関係で全国的にトラブルが相次いでいることは認識していますが、マイナンバーカードはこれからのデジタル社会において必要なものだと考えており、支援金を早期に支給することができるとのメリットがあります。町としては、普及促進をしていき、皆さんにとって不利益が起らないように進めていきたいと考えています。

 **自動販売機の設置について**

**問** くりふとがオープンしてから、仕事の打ち合わせなどで活用している。その中で、飲み物を飲みたいときにくりふと内に自動販売機がなく、少し離れた場所まで買いに行っている。災害支援型、寄附型の物もあるので、自動販売機の設置を検討していただきたい。

**答** くりふとの自動販売機の設置については、以前にもお話をいただいています。前向きに検討したいと考えています。



**情報提供内容**

- 町からの情報提供として、下記の内容を説明しました。
- ①令和5年度の推進事業
  - ②ごみ分別内容の変更
  - ③ゼロカーボンシティ宣言
  - ④町内会・自治会からの質問・意見に対する回答
  - ⑤関係機関・団体からの質問・意見に対する回答



※紙面の都合上、懇談内容の一部のみを掲載しています。町ホームページでは、懇談会の議事録や町からの情報提供資料を閲覧できます。